

3. 進級・卒業要件

(1) 進級するためには

①進級要件

進級するためには、各年次1年以上在籍し（休学期間は含みません）、下記に示す各学年の進級所要単位を修得する必要があります（法政大学学則 第19条および進級に関する規程（情報科学部）による）。進級所要単位には、卒業所要単位外の科目は含まれません。

年度末に当該学年の進級要件を満たせない場合、留級（留年）となります。進級要件は入学年度のもので適用され、卒業まで変わることはありません。

2年次進級要件

<2015年度以降入学生>

- ・1年生から2年生に進級するには、累計18単位以上を修得していなければなりません。

<2014年度以前入学生>

- ・1年生から2年生に進級するには、累計24単位以上を修得していなければなりません。

3年次進級要件

- ・2年生から3年生に進級するには、累計56単位以上を修得していなければなりません。

4年次進級要件

- ・3年生から4年生に進級するには、累計92単位以上を修得していなければなりません。

②各学年春学期末までに最低限修得しておくべき単位数

情報科学部教授会では、春学期末までに最低限修得しておくべき単位数を学年ごとに設定しています。これらの基準を下回ると留級の危険性があるため、保証人にも状況を報告し、当該学生に対しては面談等の指導を行います。

1年次春学期末

- ・累計14単位以上を修得してください。

2年次春学期末

- ・累計49単位以上を修得してください。

3年次春学期末

- ・累計80単位以上を修得してください。

4年次春学期末

- ・累計110単位以上を修得してください。（ただし、春学期履修登録時に卒業要件を満たしていることが望ましい。）

(2) 卒業するためには

法政大学情報科学部を卒業し、学士（理学）の学位を得るためには、下記の要件を全て満たすことが必要です。要件を満たせない場合は卒業保留（留年）となります。

なお、下記の卒業要件は入学年度のもものが適用され、卒業まで変わることはありません。これらは法政大学学則第 17 条により定められています。

<表内の略称について>

- ・CS：コンピュータ科学科（Department of **C**omputer **S**cience）
- ・DM：デジタルメディア学科（Department of **D**igital **M**edia）

<以下、2015 年度以降入学生に適用されるコース>

- ・CF：コンピュータ基礎コース（**C**omputer **F**undamentals）
- ・IS：情報システムコース（**I**nformation **S**ystems）
- ・MS：メディア科学コース（**M**edia **S**cience）

※各コースについての説明は、「5. コース制度」を参照してください。

<2015 年度以降入学生>

- ①4 年以上在学していること（ただし休学期間を除き最長 8 年までしか在学できない）。
- ②卒業所要単位内の科目を 124 単位以上修得し、かつ下記に示す科目群ごとの所要単位を満たしていること。
 - ・英語科目から 10 単位
 - ・教養科目から 10 単位
 - ・科学基礎科目から [CS] 9 単位以上、[DM] 13 単位以上
 - ・専門科目から [CS] 74 単位以上、[DM] 72 単位以上
 - ・上記に加え、専門教育科目群から [CS] 21 単位以上、[DM] 19 単位以上
- ③必修科目をすべて修得していること。単位数は（4）の表で確認すること。

<2012～2014 年度入学生>

- ①4 年以上在学していること（ただし休学期間を除き最長 8 年までしか在学できない）。
- ②卒業所要単位内の科目を 124 単位以上修得し、かつ下記に示す科目群ごとの所要単位を満たしていること。
 - ・総合基礎科目から 46 単位以上
 - 科学基礎科目から 20 単位以上
 - 人文・社会科目から 14 単位以上
 - 英語科目から 10 単位
 - 上記に加え、科学基礎科目、人文・社会科目、スポーツ総合、選択外国語から 2 単位以上
 - ・専門教育科目から 78 単位以上
- ③必修科目をすべて修得していること。必修科目単位数は各学科次のとおり。
[CS] 合計 58 単位、[DM] 合計 50 単位

科目群ごとの所要単位数を表にすると、次ページからの表のとおりとなります。

2015年度以降 コンピュータ科学科入学生の卒業所要単位数

科目群		必要単位数			
卒業所要単位数合計 【①+②+③】	① 英語科目		必修 10 単位		124 単位以上
	② 教養科目 【A~C】	A 人文系	選択 10 単位 (10 単位を超えて履修できますが、他の科目群(①・③)の所要単位も満たさなければ卒業できません。)		
		B 保健体育系			
		C 選択外国語			
	③ 専門教育科目 【D+E】	D 科学基礎科目		必修 5 単位 選択 4 単位以上	
E 専門科目		学科 専門科目	必修 27 単位 選択必修 2 単位	74 単位以上	左記に加え、 専門教育科目 群(D+E)から 選択 21 単位以上
	コース 専門科目	[CF] 必修 12 単位 [I S] 必修 16 単位 [MS] 必修 16 単位 選択必修 2 単位			

2015年度以降 デジタルメディア学科入学生の卒業所要単位数

科目群		必要単位数			
卒業所要単位数合計 【①+②+③】	① 英語科目		必修 10 単位		124 単位以上
	② 教養科目 【A~C】	A 人文系	選択 10 単位 (10 単位を超えて履修できますが、他の科目群(①・③)の所要単位も満たさなければ卒業できません。)		
		B 保健体育系			
		C 選択外国語			
	③ 専門教育科目 【D+E】	D 科学基礎科目		必修 13 単位	
E 専門科目		学科 専門科目	必修 25 単位 選択必修 2 単位	72 単位以上	左記に加え、 専門教育科目 群(D+E)から 選択 19 単位以上
	コース 専門科目	[CF] 必修 12 単位 [I S] 必修 16 単位 [MS] 必修 16 単位 選択必修 2 単位			

(3) 履修登録上のルール

①年間最大履修単位数（履修登録におけるCAP制）

情報科学部における年間最大履修単位数は、49単位（※）です。

（※前年度GPAが3.0以上の場合は、56単位（2011年10月教授会決定による））

ただし、例外として一部の科目については、年間最大履修単位数を超えて下表の単位まで履修することができます。

1年次	2年次	3年次	4年次
12単位	24単位	24単位	総合計73単位以内

<例外対象科目>

教職課程科目、資格課程科目、リクエスト集中講義、大学院先取り科目、Study Abroad 国際インターンシップ、国際ボランティア、SDGs科目、成績優秀者他学部履修制度により履修する科目

（※授業計画上、正規科目を授業期間外に集中開講することがありますが、例外は適用されません。年間最大履修単位数にカウントされます。）

②セメスタごとの単位数はバランスよく

春学期と秋学期は、それぞれバランスよく履修登録してください。春学期に極端に多い／少ない単位数で登録してしまうと、秋学期に必修科目が登録できない／進級に必要な単位を満たせないなどの不都合が生じる場合があります。目安としては・・・

- ・春学期 ⇒ 20～25単位前後の登録を心がけてください。
- ・秋学期 ⇒ 49単位から春学期の履修単位数を引いた単位数までが登録できます。

なお、履修登録にあたっては、春／秋それぞれの授業時間割をよく見て検討するとともに、進級／卒業要件を十分に確認してください。

③必修科目は必ず登録

自分の学年に配当されている必修科目は、必ず当年度中に全て登録してください。

情報科学部のカリキュラムは、必修科目を配当学年で修得することを前提に設計されています。そのため、必修科目を履修しておかないと、翌学期以降に「科目の履修前提条件を満たせない（あるいは履修できても授業についていけない）」、「他の必修科目と曜日時限が重なる」などの問題が発生します。もちろん、必修科目を全て修得していなければ卒業できません。要件（所要単位数）さえ満たしていれば進級はできますが、安易に履修を先送りにしないようにしてください。

④クラス指定の授業科目

時間割表にクラス指定がある場合は、必ず指定されたクラスの授業を登録してください。再履修で履修授業が重なる場合を除き、自己都合でのクラス変更は認められていません。

⑤科目の再履修

前年度に単位を修得できなかった場合（または、2015年度以降入学生が「学び直し」対象科目をB-評価以上で合格できなかった場合）は、同一科目を再履修することができます。ただし、再履修の場合でも指定クラスを履修してください。

※英語科目の再履修は、レベルに応じたクラスを年度毎に指定します。

他の必修科目との曜日・時限の重複により受講クラスを変更する必要がある場合には、学部事務窓口（管理棟2階）で「履修クラス変更願」の手続きをしてください。手続きをせずに他クラスの履修登録をした場合は、履修が無効となりますので、注意してください。

⑥座席数超過による履修制限

受講希望者が教室座席数を超過した場合は、教育上の観点から履修人数を制限する場合があります。その際は、原則として初回授業出席者の中から履修者を決定しますので、履修したい科目は、必ず初回授業から出席するようにしてください。

履修制限措置を行う場合には、該当科目等の詳細を掲示でご案内します。

⑦科目名だけで安心しない

登録にあたっては、授業コード、科目名、曜日、時限、教員名をよく確認して登録してください。同じ科目名であっても、クラスを間違えて登録した場合は、成績評価の対象となりません。時間割を見ながら、間違いのないように登録してください。

⑧新入生で入学前に修得した単位に関する取扱いについて

本学に入学する前に他大学等において修得した単位がある場合、学部教授会による承認を以て、情報科学部の卒業所要単位として認定することができます。

該当する可能性がある場合には、4月上旬の履修登録開始前に管理棟 2階情報科学部窓口へ申し出てください。単位認定の時期は入学した年度のみとなります。

(4) 科目履修上の注意① (英語科目)

①英語科目のクラス編成

英語の授業は TOEIC®-IP テストの成績によって、科目・学科ごとにレベル別にクラス編成します。(クラス編成にあたっては、1年生は4月ガイダンス期間中、2～4年生は前年度秋学期に実施する TOEIC®-IP テストおよび、秋学期に行う TOEIC 模擬テストのスコアを参照します。)

レベル別クラスによって、各学生は最適な学習環境で英語教育を受けることができます。

クラス名は、[CS] AB1～AB4(もしくは3)、[DM] CD1～CD4(もしくは3)となります。「1」が一番高いレベルのクラスです。

英語科目を再履修する場合も、直近の TOEIC®-IP テストの成績によってクラス編成されます。ただし、他履修授業と重なってしまう場合は、クラス変更手続き期間内に管理棟 2F 情報科学部窓口へ申し出てください。

②クラス別の成績評価

成績評価は公平を期するために、レベルを考慮したガイドラインを基につけられます。ただし、このガイドラインは一つの目安であり、例えば、1年英語の AB4・CD4 クラスでは絶対に S 評価がとれない、ということではありません。

③単位修得のために授業外で行うべきこと

英語科目の単位を修得するためには、授業に出席して所定の成績を修める以外に、以下のことを行わなければなりません。(1～3年生のみ/4年生は免除)

TOEIC®-IP テスト、TOEIC 模擬テストの受験
授業外課題 (Academic Express3) の指定ユニット修了
補習「英語特訓クラス」への出席 ※1年生の受講指定者のみ

これらのうち 1 つでも行わないと、当該期に履修する正規の英語科目が不合格 (E 評価) となりますので、十分注意してください。それぞれ④～⑥で詳しく説明します。

④TOEIC®-IP テストおよび TOEIC 模擬テストについて

毎年度各セメスタに、TOEIC®-IP テストおよび TOEIC 模擬テストが学部で実施されます。当該学期に英語科目を履修している学生は、(ERP 科目・短期語学研修の単位認定希望